



# sinrei 榛黎

群馬県立農林大学校

〒370-3105

群馬県高崎市箕郷町西明屋 1005

TEL : 027-371-3244

FAX : 027-371-6968

<http://www.gunma-iaf.ac.jp>

榛名登山 (平成29年5月18日)



全力で駆け抜けた2年間!

校内スポーツ大会 (平成29年6月21日)



4県対抗スポーツ大会 (平成29年10月18日)



榛の木祭 (平成29年11月11日・12日)



課題研究発表会 (平成29年12月12日)



希望を語る人に。  
校長 樋口 努



農林大学校から新たなステージに進まれる六十一名の皆さん、卒業おめでとう。

今、皆さんの脳裏には、どんな光景が浮かんでいますか。

初めて親元を離れて体験した寮生活、夏の暑い日も冬の凍てつくような寒い日にも作物栽培や飼養管理に励んだ午後の実習、体力と精神力の限りを尽くし駆け上がった榛名登山、コースの仲間との絆を深めた校内スポーツ大会、大勢の笑顔に接した榛の木祭、二種目優勝と大いに盛り上がった四県対抗スポーツ大会……。様々な思い出が走馬燈のように駆け巡っていることでしょう。

いずれの場面においても皆さんは一生懸命でした。本校での二年間は、農林業の知識や技術の習得だけでなく、これからの人生の中で何事にも代え難い大きな財産となるでしょうし、寝食を共にした仲間は生涯の友として大切に育てていくと欲しいと思います。

いよいよ、社会人としてのスタートです。人生には山あり谷あり、上手くいくこともあれば困難に突き当たることもあります。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」。私が自戒として、小説家井上靖氏の言葉です。人生のすべてが思い描いた通りに順調に進むということは、無論、あり得えません。ただ、人生には辛いことも嬉しいこともある程度、平等に起きています。それをどう捉えるかで、人生の輝きが違ってくるのです。

どんなときも、本校で培った生きる力を基盤に、仲間とともに過ごした楽しい思い出を糧として、何事にもポジティブにプラス思考で力強く歩んで欲しい。不満ではなく、希望を語る人にならねんことを切に願っています。

この度、ぐんま農業実践学校「野菜専門技術課程」を晴れて修了された二十二名の皆さん、誠におめでとうございます。一年間、熱心に栽培技術の習得に努められ、皆さん全員が就農予定とのこと、大変心強く思っています。

教職員一同、皆さんのご活躍を心からお祈り申し上げます。

同期の絆は一生の財産  
後援会会長 齊藤 正夫



卒業生の皆様、卒業おめでとう  
ございます。心よりお祝申し上げます。

親元から離れて暮らす寮生活や農業実習、大学校生活に保護者として心配していましたが、入校後子供に様子を聞くと、大学校生活は「楽しい」と言うのです。この言葉を聞いて安心しました。校長先生や教職員皆様方のご指導のおかげです。ありがとうございます。

一年生は、寮生活でしたので長く感じました。二年生では、課題研究、農家実習、職場実習、就活などで忙しい日々が続く早く過ぎてしまいました。

農林大学校での学生生活は、中身が濃く充実した生活だったことでしょう。特に寮生活では、人間関係をはじめ多くの事を学べたことでしょう。また、「キズナ」が強く結ばれたことでしょう。これ

は皆様方にとって一生の財産となり、とてもすばらしいことです。私も三年間寮生活を経験しました。部屋は、一年生、二年生、三年生の三人部屋で、とても上下関係が厳しく一年生時は大変でした。しかし、寮生活、集団生活を経験したことで人間関係や社会生活等学校の勉強とは違った多くの事を学びました。また、同期とは寝食をともにしたことと多くの行事をしたことで連帯感が生まれました。

二〇二〇年には、農林大学校創立一〇〇周年記念事業が予定されています。卒業後も良き先輩として各々の分野での活躍が期待されています。群馬の農林業を担う人材として頑張ってください。

卒業生皆様方の益々のご活躍と校長先生並びに教職員皆様方のご健康と農林大学校のご発展をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

最後に  
成せば成る  
成さねば成らぬ何事も  
成らぬは人の成さぬなりけり

上杉鷹山

学校生活の思い出

野菜コース二年 山田 飛鳥



農林大学校での思い出が二つあります。一つ目の思い出は、寮生活です。最初はなぜ三人部屋なんだとか、七時に点呼とか面倒だな、とかいろいろ嫌な事ばかりを考えていました。

しかし、いざ生活してみれば考えが一変しました。部屋のメンバーはいい人で、すぐに友達になることが出来ました。それだけでなく、他の部屋の人も仲良くなっけていき、とても楽しかったです。さらに、寮は自分だけの生活ではないので他の人のことを考えながら生活をするという素晴らしい経験を得ることができたと思います。

二つ目の思い出は、先進農林家等体験学習です。私は金井いちご園さんに行きました。金井いちご園さんは、群馬県のいちごの品評会で金賞を取るなど群馬県でトップレベルの栽培技術を誇っています。

す。

金井さんの所で研修をしたことにより、今まで知らなかった栽培方法、販売の仕方、経営面で多くの事を学ぶことが出来ました。これは、私にとって今までで一番のよい経験になり、よい思い出になりました。



花き・果樹コース二年 白石 晴香

二年間は長いようでとても短いです。

一年生の頃は慣れない寮生活で高校より高度な知識や技術を学ぶ環境について

いくのによっとでした。学校生活のなかで当たり前に実習で共に汗を流し、共に学び、時にはふざけあったことが、今ではとても良い思い出です。私が農林大で特に印象に残ったのは、コースでの同期が四人しかいなかったことです。始めはとても不安でしたが、実習を通して互いを知り、先輩達とも仲良くなりました。一番大変だったのは早朝から始まる経営当番です。この時、遅刻をして迷惑を掛けてしまった事がありました。

先輩方は笑って許してくれました。

私も先輩方のように余裕のある人になりたいと思いました。皆さんも先輩からそう思われる先輩になってください。

二年生から農家研修と就職活動が本格的に始まり忙しくなると思っています。課題研究もよく先生方と相談しながら進めてください。きっとよい指導をしてくれるでしょう。残り少ない学生生活を楽しくみながら頑張ってください。

酪農肉牛コース二年 桑原 将



私の農林大学校での思い出は、寮生活です。入学と同時に入寮しました。寮生活は人生で初めての経験でしたのでとても緊張していました。しかし、緊張は一週間もすればすぐにうそみたいにどこかに飛んでいってしま

い、みんなと馴染み、寮の方が家よりも落ち着く場所になりました。二年になり部屋替え三回目になると、さすがに部屋移動いわゆる引越しには慣れたものでした。でも、一年のときに仲良くしてい

た人達はみんな寮から出て行ってしまったため、あまり話したことがなかった人達が半分以上いました。また、この学校に入って初めて牛舎管理をやりました。最初は慣れない作業でしたので、大変でした。経営当番になると、朝の早い時間から起きて作業をするためとても辛かったです。

農林大で過ごした二年間は、短いが、とても良い経験が出来たと思っています。

社会人コース 岩瀬 国



農林大学校で農業を学び始めてから、間もなく一年が過ぎようとしています。早いものです。私にとって「学校

生活の思い出」と言えば、若い皆さんと一緒に授業や実習に臨んだことや、先進的な農家さんへの訪問見学なども然る事ながら、実他に生涯忘れ得ないアメーリングな事柄もあるのですが、別のことを記します。

太宰治の初期作品に『思い出』と題された短編小説があります。

地方名士の家庭での恵まれた環境における家族との関わりや、父親の死、「みよ」という女中への淡い初恋などが、温かみユーモアに溢れた筆致で綴られています。作者の幼少年期を描いた自叙伝的小説とされていますが、創作か純粋な追想か、研究家の間でも意見が分かれているようです。

なんだか農業と全く関係のない話になってしまいましたが、『思い出』は私自身が本校の学生たち位の年齢の頃に愛読していた作品です。若い皆さんに『思い出』をお薦めする気持ちで一筆したためてみました。

農業コース二年 関 琢久巳



農林大での二年間はあっといふ間に過ぎました。まだ農業の右も左もわからなかった一年の頃に比べて、だいぶ農業というものが身に染みついた二年間でありました。

一年生の時は全寮制で不慣れな環境で不安だったことがたくさんありました。しかし、同部屋の別

コースの学生がとても話しやすくすぐに寮の環境になじむことができました。コースでの授業や実習等もクラスの子たちが明るく接してくれたおかげで、楽しく過ごすことができました。

また、榛名登山や球技大会や四県スポーツ大会、榛の木祭など様々なイベントがありました。特に印象が強かったのは榛の木祭です。実際に自分たちのコースで作った野菜などを販売しました。自分たちで作った野菜などを販売することによって達成感を感じることもできました。それと同時に楽しかったです。

農林大での二年間はとても内容の濃いものでした。農業を全く知らなかった僕でも楽しく農業を学ぶことができました。みんなには感謝しています。ありがとうございます。

森林・環境コース二年 宮内 祐亮

私の農林大学校での思い出は、コースでの実習です！特に思い出に残っているのは、高性能林業機械と言われる伐倒や玉切りなど複数の作業を同時に行う林業機械の



研修とシイタケ原木の伐採実習です。高性能林業機械では、重機の利便性や効率化、オペレーターとして機械を操縦し、

普段めつたにできない体験をすることができました。重機の操縦は、自分でレバーを動かすことにより自由自在に機械が動くことにより白さや、普段チェーンソーで行う玉切りや枝払いといった作業が簡単にでき機械の利便さを感じとても楽しかったです！この実習は楽しい思い出として残っています。

シイタケ原木の伐採実習では、シイタケ栽培で使用するコナラ木を四日間にわたって伐採しました。生えているコナラを伐倒し枝払いを行って原木として使えそうな太さで曲がりの少ないところを長さ九十センチのところに印をつけチェーンソーで切ります。そして切った原木を一輪車でトラックまで運びました。この実習の時は真冬で雪が降ってきたり斜面がきついところもあり体力的にも精神的にも大変でした。この実習は大変だった実習として一生忘れないと思います。しかし、実習は仲間との

卒業生へのメッセージ

大切なコミュニケーションの場でもあり協調性が生まれたり一体感を感じたり、またそれぞれの個性が見えたりと作業以外にも大切なことが身についたと思います!!

野菜コース一年 黒岩 佑吏



先輩方、ご卒業おめでとうございます。この群馬県立農林大学校での生活はいかがでしたでしょうか。二年間という長いよ

うで短い日々の中には楽しいことや辛いこと、努力したことなど数多くの思い出があったかと思いません。先輩方が充実した生活を送っていましたら幸いです。

さて、先輩方は農林大学校を卒業して進学や就職とそれぞれの道を歩んでいくこととなります。大人になり社会にいれば、環境も変わり思うように行かないこともあるかもしれません。そんな時は、深呼吸をして二年間の思い出を振り返り元気を出して下さい。改めて、ご卒業おめでとうございます。

野菜コース一年 金井 崇成



二年生のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。二年生である先輩達と共に学んで来た一年間は私達にとって、とても貴重な時間でした。四月にこの学校に入学し、右も左もわからなかった私達に、自分の作業や課題研究で忙しいのにもかかわらず、先輩達は、丁寧に作業の仕方を教えてくれました。

また、課題研究の発表会で堂々と発表する先輩達はとてもカッコよく見えました。一年間という短い期間でありましたが、先輩達から学んだことを胸に、学校生活を送って行きたいです。一年間ありがとうございました。

花き・果樹コース一年 瀧澤 仁志

先輩方、一年間ありがとうございました。実習の中で作業を効率よく素早くこなしている姿を見て、私もこうなりたいと思いました。榛の木祭ではジャム作りで夜遅

くまで残り大変でしたが、先輩方と一緒に成し遂げることができてよかったです。模擬店でカレーを作ったときも、早朝三



時頃から準備を始めていて、四時頃から参加した私も、少しでも協力することが出来て嬉しかったです。

先輩方が就職し、苦しいことも沢山あると思いますが、それを乗り越えた先に幸せなことが訪れると思います。先輩との一年間を絶対に忘れません。

花き・果樹コース一年 佐野 昂希



二年生の先輩方、ご卒業おめでとうございませう。先輩方には私が入学してから水のやり方から花の収穫、経営当番のやり方など基本的なことを優しく教えていただきました。榛の木祭の準備では初めて何をしたらいいのか分からず困っていた時、声をかけてもらい、一緒に看板や箱作りをしていただきました。また、

先輩方の課題研究の発表は誰にでもよく分かる聞きやすい発表で、私もこれから課題研究を始めるにあたって先輩のような分りやすく、ためになる研究をしていこうと思います。一年間という短い時間でしたが、色々ありがとうございました。

酪農肉牛コース一年 田部井 彩果



ご卒業おめでとうございませう。農林大に入学してすぐに専門実習が始まり、先輩方から沢山の知識や技術を学びました。

優しくて、楽しくて、大好きで時には真剣に相談に乗って頂き、とても尊敬している先輩方です。大好きな先輩方の卒業はとても寂しいですが、先輩方から教えてもらった事を胸に、これからも頑張ります。今までお世話になり、本当にありがとうございます。これからも先輩方のご活躍をお祈りしています。

酪農肉牛コース一年 森田 智貴



二年生の先輩方、ご卒業おめでとうございませう。私が入学してからの先輩との農林大生活があったという間だったなと改めて感じます。私の中で、先輩の印象として、日々、色々な生活や学習、実習面で助けてもらえたのがとても大きいです。特に酪農コースの先輩方には、牛舎の作業内容を教えてもらったり、何か困った時には手を差し伸べてもらったり、大変お世話になりました。私も先輩方からいただいた恩賜を忘れず、日々の勉強や実習に活かしていきたいと思ひます。最後になりますが、社会に羽ばたく先輩のご活躍を期待しています。

農と食のビジネスコース一年 赤尾 彩夏



ご卒業おめでとうございませう。今までたくさんの方を教えていただきました。ありがとうございました。スポーツ大会、四県

スポーツ大会、榛の木祭等で先輩たちと協力できたことは私たちにとても良い思い出となりました。四県スポーツ大会では私は運営スタッフでしたが、一生懸命に戦っている姿を見て感動しました。榛の木祭ではこんにゃくの加工方法を丁寧に教えてくれました。忙しく大変なこともありましたが、先輩たちのおかげで無事に終わることが出来ました。

これから社会に出て大変なこともあると思いますが、新しい職場でも活躍されることを期待しております。頑張ってください。

農と食のビジネスコース一年

天田 和輝



二年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。私たちが入学して、いつも優しく接してくれて、とても嬉しかったのを覚えています。休み時間には話しかけてくれたり、合同で行った実習では丁寧に作業を教えてください、とても助かりました。先輩と一緒に居る時間はとても

楽しかったです。これからはそれぞれの進路で活躍できるように、先輩一同応援していますので、お体に気を付けて日々頑張ってください。私たちも先輩たちのような明るく元気で優しい人間になれるよう努力していきます。二年間お疲れ様でした。

も楽しかったです。これからはそれぞれの進路で活躍できるように、先輩一同応援していますので、お体に気を付けて日々頑張ってください。私たちも先輩たちのような明るく元気で優しい人間になれるよう努力していきます。二年間お疲れ様でした。

森林コース一年 平方 雄大



一年間という短い期間でしたが、先輩方には大変お世話になりました。ありがとうございました。校内スポーツ大会、

四県スポーツ大会、榛の木祭等の行事では、先輩方と一緒に良い成績や思い出を残すことができました。特に印象に残るのは、榛の木祭の時に、先輩方と一緒に販売用の木工品を創意工夫しながら製作したことです。

私達も次の一年生が入ってきたら、親しみやすく、頼りがいがあるとってもらえるようがんばりたいと思います。

森林コース一年 西川 凌央



ご卒業おめでとうございます。先輩方との交流の中で、特に思い出深いのは、私はバスケットボール部に所属していて、

四県スポーツ大会では先輩方の活躍により、優勝できたことです。来年度は埼玉県での開催です。私達が新入生とともに、優勝を目指したいと思います。

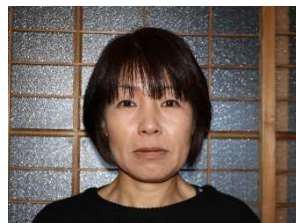
森林コースの先輩方の多くは、森林関係の仕事に就かれると聞いています。私も林業の世界に入ることが目標にしています。そして、先輩方と再会できたらと思います。その際はよろしくお願いします。



保護者からの一言

新社会人として頑張れ

高橋 ひとみ



初めて家から離れて、期待と夢を抱き入学してから早二年が経ちました。今まで知らなかった友人達と知り

合い寮生活が始まり、常に一緒に友との生活、親の私達にはわからない程、絆が生まれた事でしょう。学校生活でも皆で協力し合ってそれぞれの学科での学びで知識を身に付け意見を出し合い、作物などが出来るという喜びも分かち合えた事でしょう。秋に行われる榛の木祭でも皆で一丸となって成功させていたのを多少なりとも協力させてもらい間近で見させてもらいました。学生達の目の輝きを今でも忘れられません。いつまでも良い思い出となるはずです。

これからは皆それぞれに違った道に進むことになると思いますが、卒業後もお互い良き相談相手とし

て長く付き合って行けるような関係が出来るといいですね。社会人になると色々な事があると思いますが、農林大での生活を忘れず、頑張って一步を踏み出して下さい。

卒業生の皆さんへ

山本 美香



卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。息子は父親の仕事柄幼いころから林業や森林について身近に感じていたと思います。東京で二年間過ごした大学を中退し林業を学びたいと入学させていただきました。全寮制であり食事の心配もないことで、母としてはこの上なく安心でした。反面、全く違う環境の中で自分の目標を見いだせるのかと不安もありましたが幸せなことに本当に面倒見の良い先生方と友人に恵まれて頑張れたのだと感じています。この場で輝かしく伝えられるような将来はまだ決まっていらない現状が、先生方には大変申し訳なく思いますが、小さい頃

から見てきた林業の仕事が本当に大切であること、もっと普及させる必要があること、また厳しい仕事であることなどを実践で学べたことはこれからの息子にとって確実に糧となります。言葉はまとまりませんが親として先生方、周りのすべての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

贈る言葉

農業経営学科 野菜コース

中條 博也



卒業おめでとうございます。あつという間に過ぎてしまった二年間だと思います。これから皆さんは、社会で活躍する事になりますが、心掛けてほしいことが二つあります。それは、自分の身近にいる人全てに、感謝の気持ちを忘れないと言う事です。私達が今あるのは支えてくれた家族や仲間、関わってくれた人達のおかげであると言うこ

とです。社会に出ても様々な人と出会います。これから出会う人も感謝の気持ちで接して欲しいと思います。もう一つは、まずは、自分が今いる場所で必要とされる人になる事、また、そういう努力をいつもして欲しいと言うことです。新しい生活が始まる事で不安が一杯だと思えますが、そつすることができれば自然に道は開けていくと思います。

この二年間は、寮生活、実習、先進農林家等体験学習、課題研究等々、農林大ならではの経験を積むことができました。皆さんの成長を一番身近で見てきた一人として言えるのは、自信を持って欲しいと言っています。これからの活躍を期待しています。

農林業ビジネス学科

農と食のビジネスコース

岡村 成章

ご卒業おめでとうございます。この二年間どんな事が印象に残っていますでしょうか。農林業実習やイベント、癖の強い教授や担任、気楽に話し合える同級生等々。思い起こした数だけ、皆さんは農林



大をエンジョイ出来たのだと思います。いよいよ四月から自分の進路へ進みます。社会人になる人が気をつけ

たいのは、今までの「お金を支払うお客様」から「お金を頂く労働者」に変わることです。自分の農業や会社の維持発展のため、いかに成果を上げるかが要求されます。これを上手くこなすには、「人脈」と「気持ちの切り替え」が重要。苦手な人でも、つながり捨てないスタンスであれば、おのずと味方が増えていきます。また、平日の仕事モード・休日の遊びモードをしっかりと分けることで、気持ちがずっと楽になります。

今までの学校や農林大で習得した事を胸に、皆さんが持っている溢れるパワーで、四月からの進路に笑顔で臨んでください。二年間本当にご苦労様でした。



AS-IAGAPの取得



野菜コース施設  
野菜専攻では、  
(一財)日本GAP協  
会が認定する「AS-IAGAP  
(アジアギャップ)の  
個別認証」を取  
得しました。

「AS-IAGAP認証」の取得  
は、県内初、野菜では全国の農業  
大学校でも初めてとなります。

GAP (Good Agricultural  
Practice : 農業生産工程管理)と  
は、農業において、安全で品質  
のよい農産物の生産につながるた  
めに、「食品の安全」「環境の保全」  
「働く人の安全・人権福祉」の三  
つを主な目的として、生産者が栽  
培から出荷までに守るべきルール  
を定めたもので、これに第三者の  
審査・認証を組み込んだ認証制度  
です。

一般的にはあまり知られていま  
せんが、農産物を生産する多くの  
工程について、決められた基準に  
沿って実施していくことで、安全  
で品質の良い農産物の生産、さら

には持続可能な農業生産につなげ  
ようというものです。

日本において普及しているGAP  
に「JGAP」がありますが、  
AS-IAGAPは、JGAPの基  
準に、HACCP (「Hazard  
(危害)」「Analysis (分析)」「  
Critical (重要)」「Control  
(管理)」「Point (点)」という  
言葉の略語で、食品を製造する際  
に安全を確保するための管理手法  
のこと)ベースのリスク管理や食  
品防衛、食品偽装の防止等の基準  
を上乘せした国際水準のGAPで  
す。



農林大学校で  
は、生産技術の  
習得と経営感覚  
を兼ね備えた人  
材の育成、県内  
の農業高校や農  
業者への認証取  
得に貢献すること  
を目的に認証を  
取得しました。認  
証品目はイチゴ、  
キュウリ、トマト、  
ナスです。

二〇二〇年の東京オリ  
ンピックで選手に提  
供される食材の調達  
基準や世界の農産  
物の流通としても  
今後注目が高まり  
つつあります。

ぐんま農業実践学校



農林大学校では、  
就農を志す県民を  
対象に「ぐんま農  
業実践学校」を開  
校しています。野  
菜の栽培管理技術  
等について、実習

を中心とした研修  
を行っており、二  
コースに合わせた  
様々なコースが  
あります。



毎年、定員を超  
える応募がある  
人気の学校で、  
今年度は延べ一  
四〇名以上の方  
が入校し、二十  
代から七十代ま  
での幅広い年齢  
層の方が、新た  
な農業の担い手  
を目指して学び  
ました。日々の  
実習では、研修  
生が協力し、多  
くあるため、連  
帯感が生まれ、  
かけがえのない  
仲間づくりにつ  
ながっています。  
修了後、研修生  
は県内各地で就  
農し、高齢化や  
担い手不足など  
に直面する本県  
農業の活性化に  
向け、地域農業  
の担い手としての  
活躍が期待され  
ています。

ぐんま農業実践学校  
の研修生の言葉

ぐんま農業実践学校

専門技術課程

野中 美喜巳



植物栽培が大好  
きだったので、  
退職したら就農  
したいと思って  
いました。けれ  
ど本で読んだり  
人から聞いたり  
しただけの知識  
は役に立ちませ  
ん。ぐんま農業  
実践学校では、  
作業の必要性、  
食や環境の安全  
、経営者としての  
視点等を実践も  
踏まえて教えて  
もらいました。研  
修生は幅広い年  
齢層ですが、ど  
の方もとても熱  
心です。ぐんま  
農業実践学校は  
、研修生同士が  
自分の作業の情  
報を交換する場  
でもありました。  
皆で様々なイベ  
ントも体験し、  
同じ道を目指す  
同志のような強  
い絆が生まれま  
した。素晴らしい  
体験をさせてい  
ただけに感謝し  
、新たな気持ち  
で就農していき  
たいと思います。